

家庭学習のアドバイス（数学・中学2年生）

このシートは、学校再開までの期間にどのように学習を進めていけばよいのか、皆さんのヒントになればと思い、一例を示したものです。学校が再開したら、授業の予習・復習の進め方については先生からお話がありますので、その方法で中学校生活の学習を進めてください。

1 こんな勉強をしよう。

基本	発展
<p>【教科書の例題を理解する】</p> <ul style="list-style-type: none">教科書の例題は、考え方の基本が示してあります。式の意味、計算の仕方やなぜそうなるのかをしっかりと理解しましょう。 <p>【何回も繰り返して復習する】</p> <ul style="list-style-type: none">「わかる」と「できる」はやや意味が違います。きちんと「<u>わかる（理解する）</u>」ために、教科書やワーク、場合によっては解答を参照し、根気強く学習に取り組みましょう。「わかる」ようになったら、ノートに計算などを繰り返し、<u>何にも頼らずに答えを出せるようにする「できる」</u>を目標にしましょう。 <p>【公式の意味を理解し、活用できるようにする】</p> <ul style="list-style-type: none">公式などは、式の形を覚えるだけでなく、意味を理解し、問題に合わせて活用できるようにしましょう。	<ul style="list-style-type: none">基本問題が理解できたら、今度は早く正確に答えを求める練習をしましょう。計算のスピードがアップすると、次のアイデアがどんどん出てくるようになります。発展問題が苦手という人は、ワークや問題集にあるいろいろな問題にチャレンジし、慣れることで、問題に応じた考え方を身に付けましょう。問題によっては、その様子や数量の関係をつかむため、式・表・グラフまたは図に表してみることが大切です。総合問題にも挑戦してみましょう。自分で問題集を購入する場合は、教科の得意・不得意に応じて、基本・応用・発展問題のバランスを見て、選ぶとよいでしょう。最後までしっかり取り組むようにしましょう。

2 「考える力を養う問題」次の問題を考えてみよう。

(1) $1+2+3+4+5+6+7+8+9+10$ を計算しなさい。

答え _____

(2) $1+2+3+\dots+\dots+\dots+100$ を工夫して計算しなさい。

〔求め方を「ことばや式」でまとめよう〕

求め方1

求め方2

答え _____

答え _____

※ 身の回りには、答えの求め方を、文字を用いて表すことで、その方法が整理されるものがあります。